



つくば市立栄小学校

さかえ小 ニュースレター

No.19

R7.6.17

One for all, all for one. ～一人はみんなのために みんなは一人のために～

〔児童数〕 295 名

学校教育目標:認め合い、学び合い、自分で考え行動する児童の育成

一気に夏本番！ ～水泳学習スタート～

16日(月)、真夏のような日差しが照りつける中、水泳学習がスタートしました。この日に実施した5年生と2年生は、それぞれプール内での動きやルールを確認しながら、先生の合図で入水しました。「きもちいい!」「冷たい!」など、子供たちの第一声は様々でしたが、久しぶりの水泳学習に、仲間と顔を合わせながら満面の笑みを浮かべていました。17日(火)には1・3・4年生が、18日(水)には6年生が初めての水泳学習となります。今週は暑い日が続く予報となっており、学校は一気に夏本番です。



ネットトラブルを防ぐ ～5年非行防止教室～

17日(火)、茨城県警少年サポートセンターから講師の先生をお招きし、5年生を対象に非行防止教室を実施しました。講師の先生からの具体的な事例を踏まえたお話を、5年生の子供たちは熱心に耳を傾けていました。インターネットの利便性が急速に高まる中で、中学生や小学生など子供たちが犯罪に巻き込まれるケースが増えてきています。SMS 利用上の注意など、身近なところから安全な利用について考える機会となりました。



歯の健康について話題に ～歯科検診～

日本では、ある時代に人々の虫歯率が急激に増えたといわれています。それは、何時代のどんなことが原因とされているのでしょうか？

日本では、縄文時代に狩猟を中心とした生活から稲作に次第に変化し、弥生時代になると日本全国にこの稲作文化が広がりました。農耕文化の広がりとともに、お米などの炭水化物を食べるようになった弥生時代に、狩猟中心の文化だった石器時代や縄文時代と比べて、虫歯率が一気に高まったといわれています。もちろん、虫歯の原因がこの1つだけとは限りませんが、歴史的な視点から人々の生活や文化、健康について考えてみることも面白いところです。

さて、10日(火)、17日(火)と2回に分かれて、歯科検診を実施しました。小学生の時期は、乳歯から永久歯への生え変わりが進む大事な時期であると同時に、おやつや量の量が増えたり、友達同士での外食の機会が増えたりするなど、食生活が大きく変わる時期でもあります。そこで、この時期に正しく歯のケアができるかどうかで、大人になってからの歯の健康が大きく左右されるといわれています。

ご家庭におかれましては、この機会に食生活の見直しや歯磨きの重要性の再確認、定期健診の受診など、歯の健康について話題に取り上げてみてはいかがでしょうか。